

経営比較分析表（令和4年度決算）

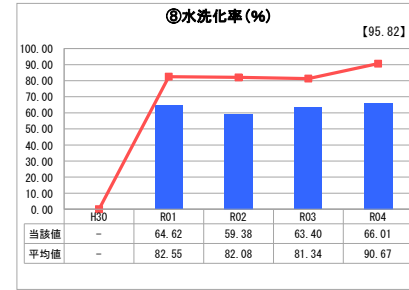
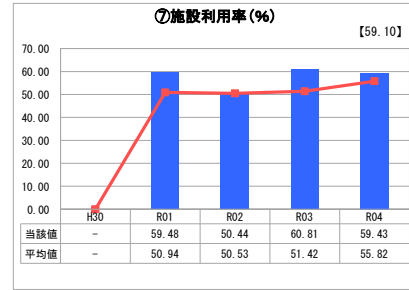
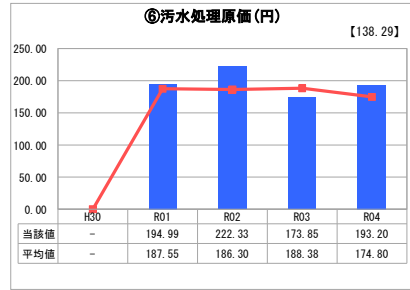
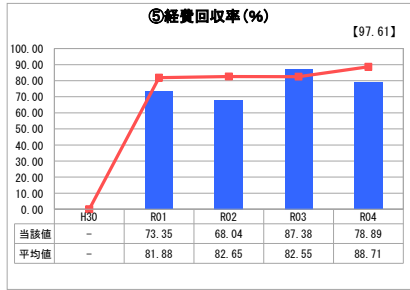
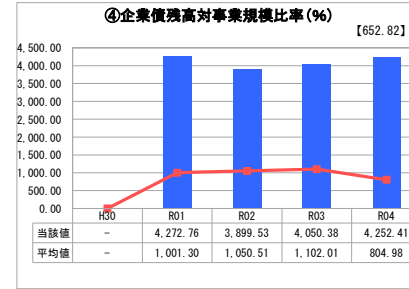
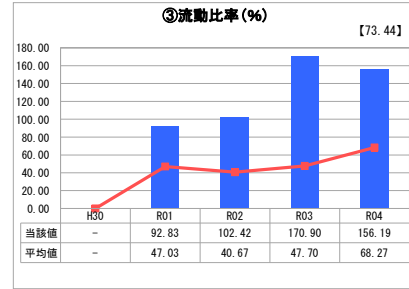
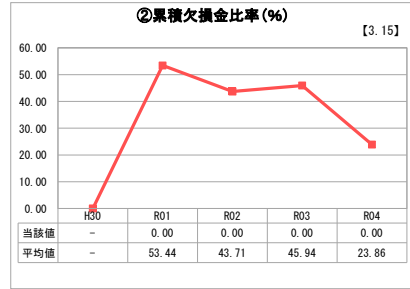
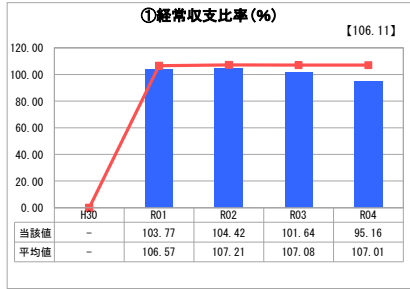
岩手県 久慈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.35	44.49	94.67	2,750

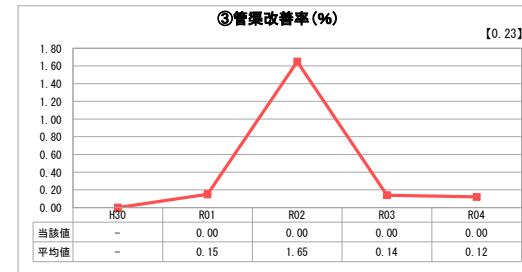
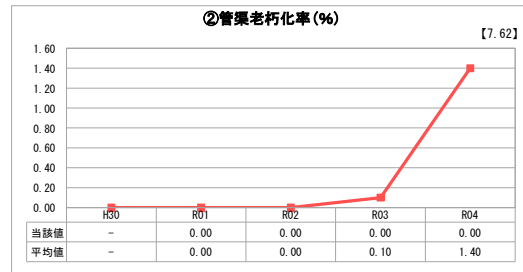
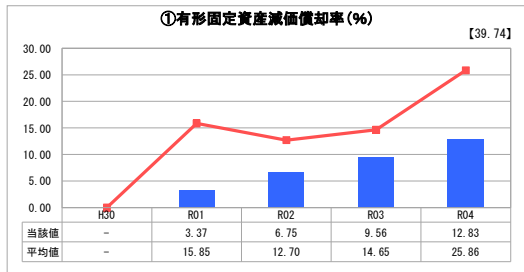
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,645	623.50	52.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,400	5.59	2,576.03

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和元年度の法適用化以来初めて①経常収支比率が100%を下回りましたが、概ね類似団体と同等の水準で推移していますが、財源不足を一般会計から基準外の繰入金で補填している状況であることから経営改善が必要です。
 ・内水氾濫対策として雨水排水ポンプ場の建設を進めており④企業債残高対事業規模比率が類似団体に比較して大幅に高い割合で推移しています。この状況から③流動比率は類似団体の2倍以上の高い率とはなっていますが、十分な支払い能力を備えているとは言えず、注意する必要があります。
 ・⑤経費回収率は、供用地域の拡大により令和3年度は一時的に増加しましたが、人口減少や物価高騰等により類似団体を大きく下回る結果となっています。また⑧水洗化率が上がっても、⑦施設利用率が上がらない状況であり、使用料収入が想定より増えていない状況です。

2. 老朽化の状況について

・類似団体と比較して①有形固定資産減価償却率は下回っていますが、供用開始から30年以上が経過した処理場の設備更新の時期を迎えていることから、ストックマネジメント計画に沿って更新を進めていく必要があります。

全体総括

・繰入金により健全経営を維持しているところですが、将来集中的に訪れる施設更新に備え、収支の安定を図る必要があります。
 ・経営戦略の改定に基づき、下水道使用料を改定する予定ですが、併せて水洗化率の向上に取り組む必要があります。現在、排水設備工事に対する補助制度を実施しているところであり、継続して周知していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。